



国家公務員共済組合連合会

佐世保共済病院 広報誌

2012
vol.12
第2号

きょうさいだより

Sasebo Kyosai Hospital Communication Paper



「佐世保川でのカヤックイベント」撮影：水田 孝 氏

INDEX

- ごあいさつ 院長 木寺 義郎…………… ①
- 入院受付窓口のご紹介
- 電子カルテシステム稼働のご紹介…………… ②
- 感染管理室のご紹介
- 診療活動の現況 — 腎臓内科・透析室 —…………… ③
- 新採用医師の紹介…………… ⑤
- 地域医療連携室より…………… ⑥
- トピックス 市民公開講座
- 編集後記
- 外来診療担当表…………… ⑦

〒857-8575 長崎県佐世保市島地町10番17号 TEL0956-22-5136(代)

紹介受付専用FAX(医療連携室) 0120-12-2067 HP <http://www.kkr.sasebo.nagasaki.jp>

急患室直通FAX 電話 0956-22-6052 (代)FAX0956-25-0662 ※休日・夜間のご連絡は、急患室直通的番号でご連絡下さい。

ごあいさつ

院長 木寺 義郎



5月から電子カルテが稼働しましたが、診療情報を迅速に共有できることで医療の質と安全性が高められることが期待されます。診療だけでなく稀な病気の発見や治療法の開発のような臨床研究に生かされるためには、診療情報が永く保存されることが必要です。

医学の領域に留まらず広く人文科学の分野でも記録されたものが保存に適した環境に置かれることが望ましく、こうしたものが文化的な遺産として継承されています。記録用の材料としては、紙が普及するまでは土器、竹簡、木簡、絹などが使われましたが、上質の和紙に墨で認められた文

書は適切に管理されると長期間の保存が可能であり、正倉院には1300年前の文書なども現存しています。

近くでは平戸市の松浦史料博物館に沢山の古文書が保管されており、貴重な歴史的資料になっています。その一部、豊臣秀吉のキリシタン禁制定書は、天正5年（1587年）6月19日に発行された全文五か条からなるキリシタンバテレン（宣教師）追放令です。墨痕淋漓の筆跡は今見ても鮮やかで、遙かな安土桃山時代に思いを馳せることができます。



キリシタン禁制定書（松浦史料博物館蔵）

電子カルテの情報については保管という面で不安がないわけではありません。情報を収載したハードディスクの保障期間は5年余りで、この間に補填や更新が必要なうえに大きな電力を消費します。電子化による医療システムは効率的である半面、情報の維持・管理に細心の注意を払う必要があり、ランニングコストもかさむという側面があるのです。

入院受付窓口のご紹介

今年度より入院受付の窓口を開設しました。こちらの窓口では、入院予定の患者さんに事務的な手続きなどの内容をiPadを使って説明しています（写真）。患者さんに必要な情報を、見た目に分かりやすく、標準化してお伝えすることで安心して入院していただく一助となればと思っています。



● 目的

- ・入院生活について丁寧に分かりやすく説明。
- ・入院当日の患者さんの移動をスムーズにします。
- ・看護師の説明の効率化を図っています。

*緊急入院の方などを除き、予定入院の患者さんを対象にしています。

電子カルテシステム稼働のご紹介

情報システム課 松本 洋行

当院では、2012年5月1日から電子カルテの運用を開始いたしました。



国は2001年に策定したe-Japan構想の一つ「保健医療分野の情報化に向けてのグランドデザイン」において、「全国の400床以上の病院の6割以上に電子カルテを普及させる」ことを2006年までの目標としてきました。現実にはその普及は目標より遅れて、ここ数年ようやく6割程度に達してきており、遅れた主な原因はシステム導入の費用対効果にあったと言われていました。

電子カルテは高価なシステムですので、投資効果を得る為には、院内の情報機能効率化に留まらず地域医療にも貢献できるものを提供する必要があります。先ず院内に於ける効果としては、リスクマネジメントに関する機能が挙げられます。電子カルテと各種の部門システムが連携した結果、検査、処方、注射、輸血などのあらゆる医療行為実施に際してバーコードを利用したチェック機能がより強化、効率化されました。これまで以上に過誤の少ない良質な医療が提供可能となりました。

また院内外からの情報の問合せに対する対応が迅速に行えるようになりました。診療情報の共有化により、他科を含めた受診記録をすぐに見ることができ、カルテを保管場所に取りに行く時間や他者が使用中の場合の待ち時間もなくなります。特に救急時には重要な要素となります。

今回の電子カルテ稼働にともない、院内インフラの整備を大きく進めることができましたので、今後はこのシステムを生かして地域医療への貢献が一つでも多く実現できるよう、更なる充実を図って行きたいと思っております。

感染管理室のご紹介

感染管理室専従看護師 碓 由美香

当院には感染対策の組織として、以前から院内感染対策委員会と感染対策チーム（ICT）があります。医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、事務員からなるICTメンバーは、全員が兼任で感染対策の実働部隊として活動してきましたが、今年3月から感染管理看護師を専従とした感染管理室が新設されました。

厚生労働省は今年度、MRSAなどの耐性菌による院内感染症の増加に対して、地域ネットワークの構築による病病連携で対処することを推奨しており、当院も佐世保市立総合病院、長崎労災病院、佐世保中央病院、京町内科病院、潜竜徳田病院と連携していくことになりました。

職員全員で感染対策に取り組み、院内だけでなく地域の皆様も感染症からお守りできるように努力して参りますので、よろしく願いいたします。感染対策に関するお問い合わせなどございましたら、いつでもご相談ください。



感染対策チーム

【はじめに】



腎臓内科部長 福成 健一

慢性腎臓病という、まだまだ聞きなれない病気と思われるかもしれませんが。しかし高齢化が進むとともに糖尿病や高血圧、脂質異常症をはじめとする生活習慣病の増加もあいまって、慢性腎臓病の患者さんも確実に増加傾向にあります。

ちなみに統計調査をもとにした推計では、腎臓の働きが正常の6割未満に低下した患者さんは20歳以上の方で日本全国に1000万人以上いるとされています。すなわち約10人に1人は慢性腎臓病の患者さんであることとなります。腎臓の働きが低下して、通常の腎機能の15～30%程度となると、貧血やカリウム、カルシウム、リンなどの異常を認めるようになり、倦怠感、食思不振、呼吸苦など様々な症状が出現してきます。このため特にこの時期には、来るべき透析治療へスムーズに移行して頂けるように内服薬の処方や透析に備えたシャントの手術などを行うことが必要となります。今年3月末での長崎県全体での維持透析中の患者さんは約3800人おられ、全国でも30万人程度の方が透析治療を行っておられます。

【当院での診療の現状 — 慢性腎臓病を中心に】

当科では、急性腎不全から慢性腎臓病（腎機能障害や検尿異常が3ヶ月以上持続する疾患の包括名称）に到るまでの腎臓疾患や維持透析患者さんを中心とした診療にあたっています。また、以下に述べるような高血圧症や

閉塞性動脈硬化症、膠原病などの患者さんについても、必要に応じて病院内外の専門医の先生方と協力しながら加療を行っています。

当科で診療している主な疾患は以下のとおりです。

- 腎疾患：急性腎炎、慢性腎炎、ネフローゼ症候群、糖尿病性腎症、膠原病に伴う腎疾患、急性腎不全、慢性腎不全
- 高血圧症：本態性高血圧症、二次性高血圧症、腎血管性高血圧など
- 閉塞性動脈硬化症
- 代謝性疾患：糖尿病性腎症、高尿酸血症による腎障害など
- 膠原病由来の腎疾患：全身性エリテマトーデス、関節リウマチなど

【当科の特徴・特色】

当科では看護部、臨床工学部、栄養科と連携をとりつつ診療にあたっております。急性腎障害や腎炎、ネフローゼ症候群の加療にあたっては極力腎生検を行い、病理診断にもとづいて十分なインフォームドコンセントのもと診療を行っています。透析導入原因の1位となった糖尿病の患者さんの増加に対しては網膜症、虚血性心疾患（心筋梗塞や狭心症など）、閉塞性動脈硬化症、下肢壊疽、悪性腫瘍などの合併症をもった患者さんが多いことから、院内の連携をとりながら診療を行っております。

さらに糖尿病に限らず腎不全保存期や維持透析中の患者さんにとっては食事療法も極めて重要な治療の柱となります。これに対しては管理栄養士によるキメの細かな食事指導を行って、合併症の少ない治療が継続できるようなサポート体制があります。他院からご紹介

介頂く患者さんに対しても、外来で可能な範囲内で栄養指導を受けて頂くようお勧めしており、最近その数も増加傾向にあります。

【当院での診療の現状 — 透析療法を中心に】

腎不全が悪化して透析治療を開始せざるを得ない状況になった時にも、安全で安心できる形での透析治療が継続できるよう、導入期から維持透析期に至るまで看護部・臨床工学部・栄養科・リハビリテーション科のスタッフと相談・協力しながら診療を行っています。

新規導入の患者さんは年間20名前後となっています。

休日夜間の救急透析についても当番体制をとり迅速に対応しています。

血液透析患者さんにとっては命綱ともいえるブラッドアクセス（シャント）機能不全に対しては積極的に血管造影検査ならびに血管内治療を行っています。年間35例程度のシャント設置術の手術も行っています。

長崎県の特徴として遠方の離島から通院しておられる方も多く、手技や自己管理が可能かどうかなどを慎重に判断し、ご本人、ご家族とも相談の上で腹膜透析による透析導入も行っております。

【その他の血液浄化療法】

透析困難症や合併症の進行予防のために、必要に応じて血液透析濾過を行っています。

全身性炎症反応症候群（SIRS）といわれる重症感染症にはエンドトキシン吸着療法も行い症例を積み重ねてきております。今年の4月より院内HCU（ハイケアユニット）も整備拡張されました。今後は必要に応じCHDFによる治療にも対応できるよう、質的向上も

目指して参ります。以上説明した実績を表に御示しします。

年間診療実績（2011年4月～2012年3月）

血液透析患者数 昼間	88名
腹膜透析患者数	2名
計	90名

導入患者数	15名
エンドトキシン吸着療法実施症例（延べ）	5例
シャント設置術件数	38例

【おわりに】

保存期腎不全に限らず、透析期に至った腎不全の患者さんも年々高齢化してきております。透析の開始や継続さえ危険を伴うような患者さんも増加してきました。合併症を含む病気の進行を抑えつつ、進行した病気に対してもその時点で最善と思える治療ができますよう、スタッフともども関連学会へも積極的に参加して連日の診療に還元して行きたいと思っております。



透析室でエコーする福成医師（左）と松本医師（右）

新採用医師の紹介

- ①出身大学・卒業年 ②在籍医局
③専門領域 ④出身地 ⑤趣味、その他一言



耳鼻咽喉科 医長 ^{あやだ}綾田 ^{とらのしん}寅之進

- ①九州大学 平成11年
- ②九州大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- ③耳鼻咽喉科一般、頭頸部外科
- ④香川県
- ⑤岡山は倉敷市より参りました。

微力ではございますが、佐世保の皆様にご貢献できますよう、尽力してまいります。



外科 医長 ^{あまこ}尼子 ^{まう}真生

- ①久留米大学 平成12年
- ②久留米大学外科
- ③血管外科
- ④杵岐
- ⑤釣り、ゴルフ

腎臓内科 ^{みつたけ}光武 ^{りょうこ}涼子



- ①佐賀大学 平成20年
- ②佐賀大学腎臓内科
- ③腎臓内科
- ④佐賀
- ⑤佐世保は初めての場所ですが、1日も早く慣れたいと思います。

腎臓内科 ^{まつもと}松本 ^{けいいちろう}圭一郎



- ①佐賀大学 平成21年
- ②佐賀大学腎臓内科
- ③腎臓内科
- ④長崎県
- ⑤よろしくお願ひします。

整形外科 ^{ちかま}近間 ^{ともなお}知尚



- ①九州大学 平成20年
- ②九州大学整形外科
- ③整形外科一般
- ④福岡県
- ⑤強いて言えば酒が趣味です。飲み会好きな方は、気軽に声をかけてください。

整形外科 ^{しおもと}塩本 ^{きょうへい}喬平



- ①富山大学 平成22年
- ②九州大学整形外科
- ③整形外科一般 ④広島
- ⑤趣味は野球と食べ歩きです。佐世保のグルメをいろいろ堪能したいと思っていますのでおススメがあれば是非教えてください。飲み仲間も募集中です。よろしくお願ひします。

皮膚科 ^{もり}森 ^{まきこ}槿子



- ①佐賀大学 平成20年
- ②佐賀大学皮膚科
- ③皮膚科一般
- ④福岡県太宰府市
- ⑤趣味はマラソンです。みなさま宜しくお願ひいたします。

外科 ^{さとう}佐藤 ^{としひろ}寿洋



- ①久留米大学 平成15年
- ②久留米大学外科
- ③消化器外科
- ④長崎市
- ⑤よろしくお願ひします。

外科 ^{たじり}田尻 ^{けんすけ}健亮



- ①久留米大学 平成20年
- ②久留米大学外科
- ③外科一般
- ④佐賀県
- ⑤地域にご貢献できるようがんばります。

外科 ^{かなもと}金本 ^{りょう}亮



- ①久留米大学 平成21年
- ②久留米大学外科
- ③外科一般
- ④山口県
- ⑤大学時代は登山をしていました。現在の趣味は食べる事、飲む事です。目標はダイエットです。よろしくお願ひします。

産婦人科 ^{にお}二尾 ^{あい}愛



- ①九州大学 平成21年
- ②九州大学産婦人科
- ③産婦人科一般
- ④福岡県
- ⑤大学でテニスをやっていた。気晴らしにテニスをされたい方がいらっしゃいましたら、是非お声かけください。

耳鼻咽喉科 ^{やすい}安井 ^{てつろう}徹郎



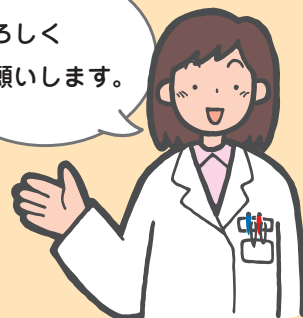
- ①九州大学 平成21年
- ②九州大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- ③耳鼻科一般
- ④愛媛県
- ⑤趣味：柔道・柔術、自転車。地域の皆様の診療に役立つように頑張ります。

眼科 ^{ふじた}藤田 ^{ひであき}秀昭



- ①佐賀大学 平成20年
- ②福岡大学眼科
- ③眼科
- ④福岡県直方市
- ⑤眼科2年目の藤田と申します。ご迷惑をかけることもあるかと思いますが、宜しくお願いします。

よろしく
お願ひします。



地域医療
連携室より

Part.
16



医療法人会 柿添病院 医 理 会

〒859-5152 長崎県平戸市鏡川町278番地

TEL 0950-23-2151

院長 柿添 圭嗣 先生

柿添病院は平戸市街地にあり昨年創立60周年を迎えました。初代院長が外科医院として創立以来、一貫して急性期医療を中心に今日に至っております。111床の2次救急病院ですが、小生が長男で外科、副院長は次男で内科、診療部長は三男で外科をしております。他に、皮膚科、整形外科、小児外科、麻酔科の医師や九大第2外科からの派遣医に加え、月替わりで数名ずつやってくる研修医諸君



柿添先生（2列目左）と病棟スタッフの皆さん

と共に地域医療に取り組んでいます。2年前から完全電子カルテ化し、昨年からは県北地域5番目のDPC病院となっております。現在、共済病院より、大変ご多忙な中診療部長の山田先生に泌尿器科専門外来としてお出でいただき多くの患者さんより感謝の言葉をいただいております。この場を借りて改めて心よりお礼申し上げます。

この機会に遡って調べましたところ、昭和48年に地域最初の透析施設を備える際、先代が長崎大学泌尿器科で研修をさせていただいた御縁で、昭和60年代より専門

医を派遣して頂けるようになったようです。同じ頃九大第1内科とのご縁で共済病院内科の先生方にもお出でいただいておりましたが、残念ながら現在は途絶えております。家内は当院の歯科をしておりますが口腔外科の先生にも大変お世話になり感謝いたしております。最後になりましたが病院長の本寺先生には以前より多くの当院職員もお世話になっており、これからも益々のご活躍を期待いたしますとともに共済病院のご発展を祈念いたしております。今後ともよろしく願い申し上げます。

2012年 佐世保共済病院学術講演会

(入場無料)

第12回 市民公開講座 **身近な症状から病気を探る**

講演

1. 総合診療医からの健康アドバイス

講師：九州大学病院 総合診療科 教授 林 純 先生

2. 自分の眼で見える皮膚病から病気を探る

講師：佐賀大学医学部皮膚科 教授 成澤 寛 先生

3. くすりはリスク

講師：佐世保共済病院薬剤科 薬局長 小島 敏行

と き：

平成24年8月11日(土)

開場 13:30 講演 14:00

と ころ：

佐世保共済病院 北館8階 大講堂

お問い合わせ：

0956-22-5136 (内線1106)

佐世保共済病院市民公開講座係 森木

編集後記

今年の市民公開講座では「身近な症状から病気を探る」というテーマで、様々な観点からお話いただく予定です。そういえば最近ちょっと気になる症状が…と思いついたことはありませんか?今年も皆様の多数のご来場をお待ちしております。

編集委員 森木 達彦



佐世保共済病院 外来診療担当表

平成 24 年 6 月 1 日現在

科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考(専門分野・特徴など)
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
腎臓内科	部長	福成 健一	●						●				腎臓疾患・人工腎臓
	医員	金谷 晶子											腎臓疾患
	〃	光武 涼子			●		●						腎臓疾患
	〃	松本圭一郎	●						●		●		腎臓疾患
循環器内科	部長	金谷 誠司					●		●				循環器疾患
	非常勤医	田渕くみ子									●		循環器疾患
	〃	横山 晋二					●						循環器疾患
	〃	溝口ミノリ			●								循環器疾患
	〃	大野 聡子									●		循環器疾患
〃	西田 憲史	●		●								循環器疾患	
神経・漢方内科	医長	樋口 泰雄	●		●				●				内科・神経内科・漢方・禁煙外来
呼吸器内科	非常勤医	溝口 祐輔									●		呼吸器疾患
	〃	横山 哲也					●						呼吸器疾患
消化器センター			●		●		●		●		●		(診療内容) 上部・下部消化管、肝・胆・膵疾患の検査及び治療 (検査内容) 胃カメラ、大腸ファイバー、ERCP、PTCD 等
外科	外科顧問	松永 章							●				消化器外科・内視鏡下外科・一般外科
	診療部長	井原 司					●		●				消化器外科・肝胆膵臓外科・内視鏡下外科・一般外科
	部長	原田 洋			●						●		消化器外科・乳腺外科・一般外科
	〃	富崎 真一	●				●						消化器外科・内視鏡下外科・一般外科
	医長	尼子 真生	●				●		●				血管外科・一般外科
	医員	佐藤 寿洋			●						●		消化器外科・一般外科
	〃	田尻 健亮	●								●		一般外科
	〃	金本 亮			●				●				一般外科
	非常勤医	川畑 方博					●						肝胆膵臓外科・消化器外科・一般外科
〃	武田 雄二									●		呼吸器外科 (第1・3・5週のみ)	
乳腺外来			●		●		●		●		●		※乳腺検診は、10時までに受付を行って下さい。(要予約)
小児科	部長	岡 尚記	●		●			●		●			小児一般、小児アレルギー疾患、気管支喘息
	非常勤医	土居 浩	●		●								小児一般
	乳児健診					●							火曜 午後1時から診察開始
	慢性外来							●					水曜 午後2時から診察開始
	喘息外来									●			木曜 午後2時から診察開始
脳神経外科	部長	川口 務	●		▲		●		●		●		脳神経外科 ▲は10時30分までに受付を行って下さい。
	頭痛外来(完全予約制)			●	●	●		●					月曜、水曜：午後2時30分～午後4時30分 火曜：午前11時～午後0時30分、午後2時30分～午後3時30分
整形外科	副院長	萩原 博嗣	●								●		膝・股関節疾患、人工関節置換術、骨折、スポーツ障害、小児整形外科
	部長	久我 尚之			●		●		●				脊椎外科、腰痛、骨・軟部腫瘍、骨折
	医長	花田麻須大	●						●		●		手の外科、マイクロサージェリー
	〃	水城 安尋			●		●				●		肩関節疾患、肩関節鏡視下手術、足部疾患
	医員	志田 義輝	●					●		●			膝関節疾患、人工関節置換術
	〃	近間 知尚	●								●		整形外科一般
皮膚科	医長	大津 正和	●	●	●		●		●	●	●		アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、足白癬、帯状疱疹、皮膚腫瘍
	医員	森 慎子	●	●	●		●		●	●	●		男性型脱毛、陥入爪、ピアス、皮膚腫瘍手術(火・水・金の午後)
泌尿器科	診療部長	山田 潤	●				●				●		尿路結石、尿路生殖器腫瘍、排尿障害、尿路感染
	部長	江口 二郎	※		●				●		●		男性不妊(江口部長) ▲の診察は第1週のみ10時30分からです ※：第2・4週(江口部長) 第1・3・5週(中村医長) が診察を行います
産婦人科	院長	木寺 義郎	●						●				産科・周産期医療、不妊症・内分泌疾患
	部長	鶴地 伸宏	●		■		●		●				腹腔鏡下手術、更年期・婦人科疾患
	〃	木下秀一郎			●		●		■		●		●：婦人科診療日 ■：産科診療日
	医員	佐藤 由佳	●■		●				●		■		
	〃	二尾 愛	●		●			■			●		
眼科	医長	原 潤	●		●	※	●	※	●		●	※	白内障手術、緑内障手術、硝子体手術、網膜剥離手術、 眼瞼下垂手術、翼状片手術、レーザー光凝固術
	医員	藤田 秀昭	●		●	※	●	※	●		●	※	※：火・水・金曜の午後は術前検査と特殊再来(要連絡)
耳鼻咽喉科	医長	綾田寅之進	●		●		●		●		●		アレルギー性鼻炎のレーザー治療・小児の耳鼻咽喉科疾患
	医員	安井 徹郎	●	●	●		●		●		●		耳・鼻・咽喉頭・頸部などの手術
放射線科	部長	野々下政昭	※検査・画像診断についてのお申し込み・お問合せは、外来までお電話下さい。									MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査	
	医員	江畑 智広											
	〃	村木宏一郎											
麻酔科	部長	深野 拓			●				●				月～金午前ペイン・緩和ケア外来
	医員	木本 文子	●				●				●		月～金午後は手術麻酔
	〃	矢野倫太郎			●				●				
	非常勤医	吉村 真紀											
	〃	別府 幸岐											
病理診断科	診療部長	井関 充及											細胞診断・病理組織診断全般
	医長	角町 鎮男	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	歯科・口腔外科(紹介患者のみ新患受付)
歯科 口腔外科	医員	矢内 雄太	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	顎変形症(外科的矯正)・インプラント・歯牙移植・顎関節症・ マウスピースなど
	医長	原 敬一	※お申し込み・お問い合わせは、健診センターまでお電話下さい。										